落書き落とし液（CBR－１A.B）取扱説明書

弊社は洗浄機器システムや環境関連商品のメーカーでありますが､このたび長年の研究開発の結果落書き落とし商品セットﾞ ＣＢＲ（クリーンベアーアール）―１Ａ・Ｂ″を好評発売中です.これはＡ,Ｂ２液を使うもので**Ａ液は水性、油性**のどちらも落とせ、**Ｂ液は油性用及び仕上げ用**に使うもので共に**中性溶剤**であります。

用途

シャッター、ガードレール、案内板、自販機と、郵便ポスト、分電盤（ボックス）歩道橋､タイルなどに書かれたラッカースプレー等による落書き、**ビニールテントの排ガス**による**黒煙除去**など、**吸水性の無い素材**（**例外としてコンクリート､レンガ**）の落書き落としなどに最適で好評を博しております。

既に工務店､ビルメンテ会社､ハウスクリーニング会社､商店街､電力会社､電鉄会社､公共事業団体､区役所､市役所等各方面でご使用いただいております.多くのボランティア団体も自治体と連携して美化推進に当たられております。

溶液の特性

CBR―１Ａの主成分はアルコール（イソプロピルアルコール）です.有機溶剤の中でもアルコール系は手､肌に付いても安全性が高く吸引しても毒性が殆ど無く,弊社として最も安心して提供出来る商品です。CBR―１B の主成分はパラフィン系です。匂いが低く毒性も低い品質安定度の高い商品です。

使用メリットと作業手順

落書き落としの場合A液のみで消せる場合も多々ありますが通常はA.B液を併用し綺麗にしあげます｡落書きは殆どラッカースプレーで書かれておりシャッターを含め塗り直しには費用が掛かると同時にまたいつ書かれるかも判らず皆様大変悩まされており半ば､あきらめているのが現状です｡東京都では条例で罰則を決めた程です。

剥離液も市販されているものの,下地の塗料まで取れてしまったというケースもあり,シンナーなどで落としている場合も見受けられますが,下地の損傷がはげしくなる恐れが多くお勧めできません。

CBR―A・B はこの点下地を痛めにくく,簡便に落書落としの出来る優れものです。

上記の通りシャッターのみならず,吸水性のない材質（鉄板、タイル、ガラス,ステンレス,アルミサッシュ等）にラッカースプレー等で書かれた落書は,念のため,**①目立たない個所で（２―３　ｃｍ程度）下地チェックをし､次いで②Ａ液でチェック③続けてＢ液でチェック④素材の安全を確かめた上で､Ａ液をスプレーした後､ナイロンスポンジなどで軽く擦り､サットボロキレ**

でふき取り,⑤B液をスプレーしてふき取り仕上げるだけです。

作業が楽で誰でも**あっという間に簡単に落とせます**。塗り直しの費用に比べ格段に安く済み,かつ**自前で落とせる**上,このセットを言わば**「常備薬」**としてお持ち戴ければ安心です。落書の書かれ方にもよりますが,通常A,B各１リットルの液で２枚シャッターを４―５回の落書に対応でき,**何度かかれても消せるわけで鬼に金棒です。**ただし,**吸水性のある木材,紙,皮などには不向きです。(コンクリート、レンガについては別工法で行います)**

簡便なコンクリートの落書き落とし方法のご紹介。

１）目的

コンクリート壁やコンクリートブロック,レンガには表面に無数の気泡と凹凸がありコンクリートブロックなどはさらに深くなっている為、落書されたカラースプレーの塗料がコンクリート内部で入れ墨状に付着しています。また溶剤で消してもどうしても残影が残るためあるため, これに満足できない場合は塗り直しするほかありません。

このように現在の所これという解決方法はありませんが、以下の条件（A－E）を念頭においての弊社の開発した方法が 多くの関係者から,まづはベストに近いものだと評価されています。ぜひご検討くださるようお願い申し上げます。

A) 作業時間を大幅に短縮できること。
B) 作業が単純であること。
C) ランニングコストが低いこと。
D) 機械, ツールが廉価であること。(大掛かりな機械などを動員しない)
E) コンクリート, ブロックなどの下地を痛めないこと。(高圧洗浄で,サンドブラストのように下地を荒らさないこと)

２)使用品及び機械消耗品

A) 溶剤――クリーンサプライ株式会社の落書き落とし溶液゛**ＣＢＲ―１Ａ″のみ**(一般の落書き消しは CBR－１A・Ｂを併用します) １８ Ｌ缶
B) ボッシュ吸塵サンダ―(ＰEX270AE 型、ダイアル式無段変速 重量１．５kg 吸塵装置内蔵 電源 100V 消費電力２７０W 回転数 7, 500～12, 000 分 マイクロフィルターシステム搭載(電源のない場合は小型ポータブル発電機使用)
C) サンディングクロス(B のアタツチメント品番 2 608 ６０４ ０５５粗目)コンクリート、ブロック等の専用品。耐水性ありメインの消耗品。
D) サンディングペーパー ＃４B の付属品,(品番 2 608 ６０５ ０００) コンクリート,ブロックなどの専用品。吸水性あり水分を嫌う。落書の塗料が 2 重３重に重なっている場合または塗料が厚い感じの場合, 素材が乾燥したまま, 軽くナメておくためのもの。

３）作業手順

A) コンクリート、ブロック、レンガの落書き面にたっぷりと水をかけ塗膜を浮き出させ、水分の吸収力が無くなった所で CBR－１A 液のみをスプレーします。これは液体を節約する為です。この後サンディングクロスを取付けたサンダ―で落書き面を消して行き浮いて来た塗料の汚れを濡れたウエス又は濡れ雑巾でふき取って終わりとなります。取り残しがある場合には、その部分に対して同じ作業を繰り返します。

B) ビッシリと書かれた絵画様のものや何重にも塗られて塗膜が厚い場合、最初に乾いた状態で（水をかけない前に）粗めのサンディングペーパーでざっと落書き面をナメテ、軽く塗膜を落し、吸水性を高めておきます。

C) コンクリートなどでも塗装又はコーティングしてある場合、つまりむき出しでない場合は吸水性がないと考え、通常のシャッター、自販機、ガードレール等の落書落しと同様最初に A 液で落し、拭き取った後 B 液で仕上げをします。この場合も塗料やコーティング剤が軟化しないか、剥げ落ちないか前もってチェックをする必要があります。

要は素材が吸水性があるか無いかを判定し、吸水性が無い場合は A 液、B 液を使用し、吸水性がある場合はシッカリと水分を吸わせて A 液のみで落書を落すと言うことです。

使用上の注意

① **引火性ですから火気厳禁です.②作業時にはビニール手袋を使用。③噴霧を吸収しないようマスクを着用して下さい。④使用後は中栓、外キャップをはめ液体の蒸発を防いでください。⑤食器、食物に噴霧液がかからぬようにして下さい.⑥子供の手の届かない暗冷所に保管してください。⑦水、シンナーなどで薄めて使用しないでください。**

ご参考事項

この落書き落とし液 CBR-１A･B につきましては、**テレビ東京（１２ch）のワールドビジネスサテライトのトレンドたまご**（H１４―７―９）や **TBS ラジオ、森本毅郎の番組**でも紹介されました。

また、**読売新聞**（H１５―２―２２）に掲載の゛**破れ窓（ブロークンウインドウズ）理論**――窓が割れたまま放置されていると、建物全体が荒廃する。だから**初期段階の軽微な違反行為を徹底して取り締まれば凶悪犯罪も防ぐことが出来る**――を実践したのが**ニューヨーク市警**で麻薬密売に限らず、無賃乗車や置き引き、**落書などの取り締まりを徹底する**ことによってニューヨークでの落書が消え、麻薬の売人が大幅に減ったということです。

つきましては、**環境改善、美化推進**、ひいては**快適なまちづくり**の為にも、是非この機会に弊社が自信を持ってお勧めするこの**落書き落とし溶液をお試し下さるようお願い申し上げます。**

クリーンサプライ株式会社　（環境・安全関連事業）

〒１８３－００３４　東京都府中市住吉町４－１４－２

℡　０４２－３４０－５０７７　Fax　０４２－３６２－４１１６

Ｅ－メールアドレス：xsrfj169@ybb.ne.jp

ホームページアドレス：http//clean-sp.biz